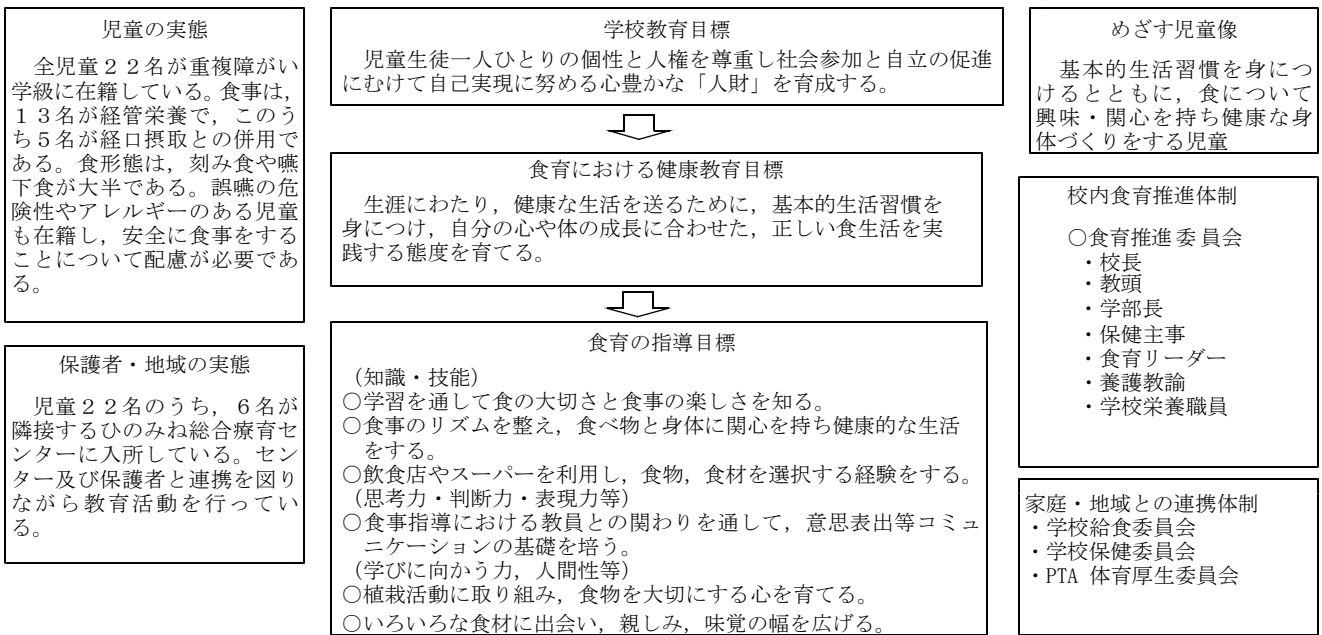


# 特別支援学校食育全体計画（小学部）

徳島県立ひのみね支援学校（小学部）



| 発達段階に応じた食育の到達目標  |  |   |
|------------------|--|---|
| I 段階             | II 段階  | III 段階  |
| ・口腔内の感覚活用の経験をする。 | ・たくさんの食材にふれる経験を通して食べることに興味・関心を持つ。<br>・初めてのことに挑戦してみようとする力が育つ。 | ・好き嫌いを少なくしながら、よくかんで食べることができる。<br>・他との関わりの中で、自分のことは自分でできる力を培う。 |

|           | I 段階 (経口摂取はできず、胃ろうまたは経鼻経管栄養による栄養摂取を行うレベル)  | II 段階 (自分で行うには補助や指示が必要なレベル)  | III 段階 (場や状況に応じて、自分で行動できるレベル)   |           |        |      |       |             |           |
|-----------|--|--|---|-----------|--------|------|-------|-------------|-----------|
| 各教科       | 生活理科<br>家庭   | 野菜等の栽培を通して、成長を観察したり食べ物や自然を大切にしたりする心を育てる。   | ・体に必要な栄養素の種類と働きについて知る。<br>・茹でたり、炒めたりして調理をする。<br>・地域の特産物について知り、味わったり調理に利用したりする。  |           |        |      |       |             |           |
| 各教科等を指導   | 合科学習   | ・季節の野菜や果物を収穫したり味わったりする。<br>・飲み物やお菓子などの香りや味を味わう。<br>・絵本の読み聞かせを通して、食事の時間、食べ物を意識できる。  | ・季節の野菜を栽培し、収穫する。また、収穫した野菜を使ってカレー作りをする。<br>・校外学習時に飲食店を利用し、楽しく食事をする。  |           |        |      |       |             |           |
| 領域別の指導    | 自立活動   | ・食べ物を取り込む唇の動きや、嚥下に繋がる間接訓練をリラックスして受け、口腔内の機能を高める。<br>・体調や覚醒レベルに応じて、楽で安全な姿勢で、胃ろう注入を受け入れる。<br>・食事をともにする人とのふれあいをとおして、食事時間の楽しさを知る。<br>・季節の果物や野菜の香りを楽しんだり触ったりして「食」に触れる。 | ・主食や副食を取り合わせて、好き嫌いなく食べる。<br>・外食のマナーを知り、食事をする。<br>・食事にかかわる人や自然の恵みに感謝して食べる。<br>(総合的な学習の時間)<br>・学校周辺へ出かけ、地域の様子を観察したり、人とふれあったりする。 |           |        |      |       |             |           |
|           |  | 特別活動   | 学級活動  | 校外学習      | 校外学習   | 校外学習 | お別れ会  |             |           |
| 地場産物の活用等  | 健康診断   | 4・5・6月   | 7・8・9月  | 10・11・12月 | 1・2・3月 | 健康診断 | 二十日大根 | みかん、柿、サツマイモ | 大根、ブロッコリー |
| 給食行事      | PTA 行事   | ・給食参観  |   |           |        |      |       |             |           |
| 個別指導      | ・安全な飲食指導のための研修や情報収集 ・個々に合わせた食事指導 ・肥満傾向児への指導<br>・アレルギー調査→個別相談(個別対応についての共通理解) など ・S T 来校指導(食事) |  |   |           |        |      |       |             |           |
| 家庭・地域との連携 | ・食育だより年3回(保護者用)発行 ・学校保健委員会<br>・栄養個別指導(肥満等) ・地元の商店等との連携 ・旬の食材の使用                              |  |   |           |        |      |       |             |           |

○昨年度からの見直し点

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、調理具等使用する道具のアルコール消毒や個別に道具を準備するよう衛生管理を徹底した。
- ・食事に関する指導をする教員は、エプロンや手ごう（毎日洗濯）に加え、不織布マスク、ゴーグルやフェイスガード、ビニール手袋の着用を徹底した。
- ・Ⅰ段階からⅢ段階に該当する児童で、周囲の人とのふれあいを通して、食をとる楽しさを伝えられるようになるために実施している口唇訓練に関しては、5月に校内教員による研修を行うとともに、言語聴覚士による各児童生徒に応じた食事指導を教えていただく時間をとった。実施に当たっては、飛沫に注意し、児童間の距離を十分にとるようにした。

○創意工夫した点

- ・プランターで野菜を苗から育てたり、収穫後調理したりして、身近に野菜を触れられるようにした。また、作った食物を持ち帰り、家族へのプレゼントとすることも多い。